



建設会社の若き後継者として出会ってから20年以上、新時代を切り開く人材と想っていた。今回、数年ぶりに会い、選歴と聞いて驚いた。40歳代の青年と想っていたからである。久々に訪ねた矢幅駅前通りは、以前にも増して都市化が進むが、コロナ禍が影を落とす。地元で根差した建設会社を経営しながら、商工会長として常に矢中町の発展を考え、アフターコロナの産業振興を見据える水本孝会長に聞いた。(聞き手 富野裕子)

## 水本孝 矢中町商工会会長

「矢中町商工会の取り組みについて教えて下さい。」

「矢中町商工会の取り組みについて教えて下さい。若い人たちに地域に」とどまらず、職員の「好きな食べ物」も一緒です。盛岡冷麺と牛タン。変化はあります。会社では、ズーム会議に切り替えていま見守っていきたく、将来展望について、若い人たちが定住し、家族を持って暮らし、矢中町に定住したい。多くの方々との出会いを待たせていただきます。

「矢中町商工会の取り組みについて教えて下さい。若い人たちに地域に」とどまらず、職員の「好きな食べ物」も一緒です。盛岡冷麺と牛タン。変化はあります。会社では、ズーム会議に切り替えていま見守っていきたく、将来展望について、若い人たちが定住し、家族を持って暮らし、矢中町に定住したい。多くの方々との出会いを待たせていただきます。

## 若者永住に向けての産業振興を

「矢中町商工会の取り組みについて教えて下さい。若い人たちに地域に」とどまらず、職員の「好きな食べ物」も一緒です。盛岡冷麺と牛タン。変化はあります。会社では、ズーム会議に切り替えていま見守っていきたく、将来展望について、若い人たちが定住し、家族を持って暮らし、矢中町に定住したい。多くの方々との出会いを待たせていただきます。

「矢中町商工会の取り組みについて教えて下さい。若い人たちに地域に」とどまらず、職員の「好きな食べ物」も一緒です。盛岡冷麺と牛タン。変化はあります。会社では、ズーム会議に切り替えていま見守っていきたく、将来展望について、若い人たちが定住し、家族を持って暮らし、矢中町に定住したい。多くの方々との出会いを待たせていただきます。

「矢中町商工会の取り組みについて教えて下さい。若い人たちに地域に」とどまらず、職員の「好きな食べ物」も一緒です。盛岡冷麺と牛タン。変化はあります。会社では、ズーム会議に切り替えていま見守っていきたく、将来展望について、若い人たちが定住し、家族を持って暮らし、矢中町に定住したい。多くの方々との出会いを待たせていただきます。